

ETロボコンへの挑戦

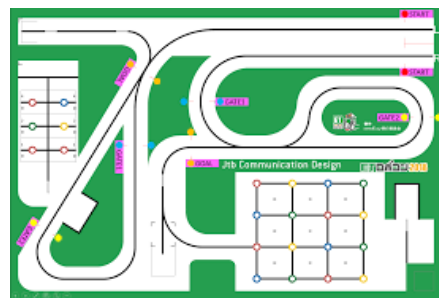
ETロボコンとは

がんちゃん+One

ETロボコンは、有名なNHKロボコンとは違い、組み込み技術を競うロボコンである。ETとは Embedded Technology (組み込み技術)の略称である。

競技部門は、デベロッパー部門とガレージニア部門がある。デベロッパー部門は規定のマシンを使い、与えられたコース、課題の中で速く正確に走ることのできるソフトウェアを競う。ガレージニア部門は制限や課題はなく、ETを用い新しいものを自由に創る。

2018年のデベロッパー部門は、LコースとRコースに分かれており、課題はLコースがブロック並べ、RコースがAIアンサーゲーム(書かれている数字を読み取り、数字に応じてブロックを配置)である。プログラムの設計書にあたるモデル、競技の成績の二つを評価し総合順位を決める。総合順位で上位を狙うためには、両方で高い評価を得る必要がある。特に、モデルに評価の比重が置かれている。



大会の結果

ETロボコンの東北地区予選が9月23日に、チャンピオンシップ(CS)大会が11月14日に開催された。岩手大学の学生および企業の参加者からなる合同チーム『がんちゃん+One』は、地区予選で総合優勝、CS大会では総合2位の成績を収めた。詳細な成績は以下のとおりである。

東北地区大会

競技部門：3位
モデル審査部門：ゴールドモデル(1位)
総合順位：1位
(その他、IPA賞を受賞)

CS大会

競技部門：3位
モデル審査部門：ブロンズモデル
総合順位：2位

※IPA賞とは、信頼性の向上という観点において、優れた設計をしたチームに情報処理推進機構 (IPA) が授与する賞のこと。

今後の抱負

CS大会で総合優勝する